

## 当月のS&amp;P MLP 指数の動き

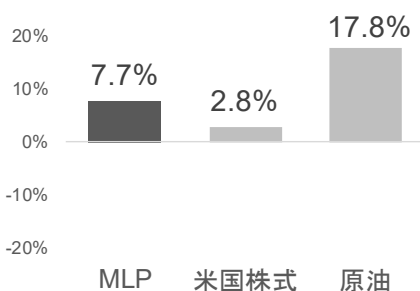
4月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+7.6%と7か月連続での上昇となりました。

米国株式市場および原油価格が堅調に推移する中、S&P MLP指数は月を通して上昇基調を続け、29日に2020年2月以来の高値を付けました。MLP各社が発表した2021年1-3月期の分配金の動向が比較的堅調であったことも、MLPの買い安心感につながりました。

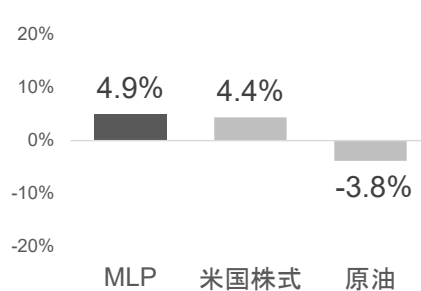
## 過去3カ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)

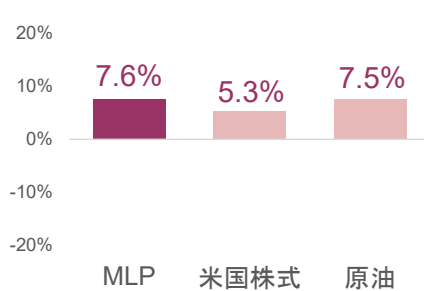
## 2021年2月



## 2021年3月



## 2021年4月



## 主要指標の動き

MLP:S&amp;P MLP 指数、米国株式:S&amp;P 500 種指数、原油:WTI

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3か月前月末	前年末	前月末比	3か月前月末比	前年末比
	2021/4/30	2021/3/31	2021/1/31	2020/12/31			
<b>S&amp;P MLP 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	4,101.87	3,812.39	3,372.05	3,165.76	7.6%	21.6%	29.6%
プライスリターン	1,027.64	963.00	863.51	818.13	6.7%	19.0%	25.6%
<b>S&amp;P 500種 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	8,678.16	8,238.48	7,681.01	7,759.35	5.3%	13.0%	11.8%
プライスリターン	4,181.17	3,972.89	3,714.24	3,756.07	5.2%	12.6%	11.3%
<b>S&amp;P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	739.04	734.70	582.72	561.47	0.6%	26.8%	31.6%
プライスリターン	371.60	369.89	296.52	286.14	0.5%	25.3%	29.9%
<b>S&amp;P 米国 REIT 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	1,609.20	1,489.43	1,371.90	1,369.91	8.0%	17.3%	17.5%
プライスリターン	357.01	330.89	306.86	306.79	7.9%	16.3%	16.4%
<b>米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))</b>							
トータルリターン	1,528.55	1,511.97	1,504.16	1,498.42	1.1%	1.6%	2.0%
プライスリターン	77.21	76.72	77.03	77.10	0.6%	0.2%	0.1%
<b>米国10年国債利回り</b>							
	1.62%	1.74%	1.06%	0.91%	-0.12	0.56	0.71
<b>原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり</b>							
	63.58	59.16	52.20	48.52	7.5%	21.8%	31.0%
<b>天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり</b>							
	2.93	2.61	2.56	2.54	12.4%	14.3%	15.4%
<b>米ドル(対円)</b>							
	109.31	110.72	104.68	103.25	-1.3%	4.4%	5.9%

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

## 当月の出来事いろいろ

- 1日に開催されたOPEC(石油輸出国機構)加盟国と非加盟の産油国からなるOPECプラスの会合では、原油の協調減産の規模を5～7月に段階的に縮小することを決めたほか、サウジアラビアも独自に行なっている追加減産を縮小することとなった。これを受け、原油先物は売られる場面もあったが、新型コロナウイルスのワクチン普及などに伴ない、原油需要の回復が進むとの期待などから引けでは急反発した。
- 14日、IEA(国際エネルギー機関)が今年の世界の原油需要見通しを引き上げたほか、米週間統計で原油在庫が予想以上に減少したことなどから原油先物が大幅に続伸し、WTIIは1バレル＝63米ドル台となった。ただし、月後半には、欧州やインドを中心に、新型コロナウイルスの感染が再拡大したことを受け、需要減退への警戒感が広がったことなどから、原油先物の上値は抑えられる展開となった。
- 米国株式市場は、米国においてワクチン接種の普及が進み、主要経済指標の堅調さが確認される中、好調な企業決算が追い風になったことなどもあり上昇基調となった。米主要3株価指数は、最高値を更新した。ただし、月末にかけては、米国におけるキャピタルゲイン課税の税率引き上げ提案などが嫌気され、上値の重い展開となった。

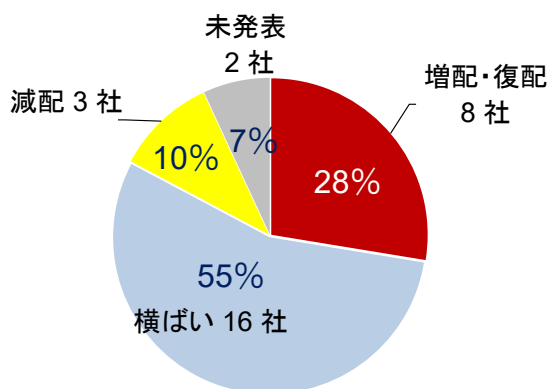
## 今後の注目点

- 2021年1-3月期のMLPの決算発表が注目される。

## MLPの分配金動向

MLP各社は決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。4月から公表が始まっているMLPの2021年1-3月期の分配金は、4月末現在で、指数構成銘柄(29銘柄、2021年3月末時点)のうち、**27社の発表が終了しており、前年比での増配・復配が8社、横ばいが16社、減配が3社**となっています。今期は、横ばいとする企業が多く、減配の企業は限定的でした。

<S&P MLP 指数の構成銘柄\*の分配金額(前年比)の動向>  
2021年4月末現在 \* 2021年3月末時点

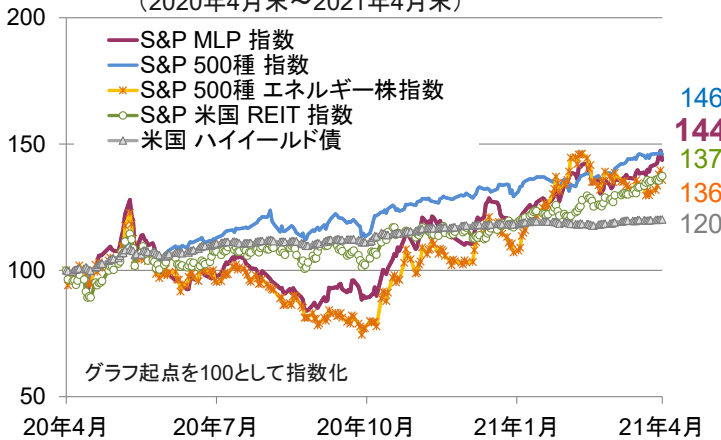


※左記の数値は四捨五入の関係で合計が100%とならないことがあります。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成  
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

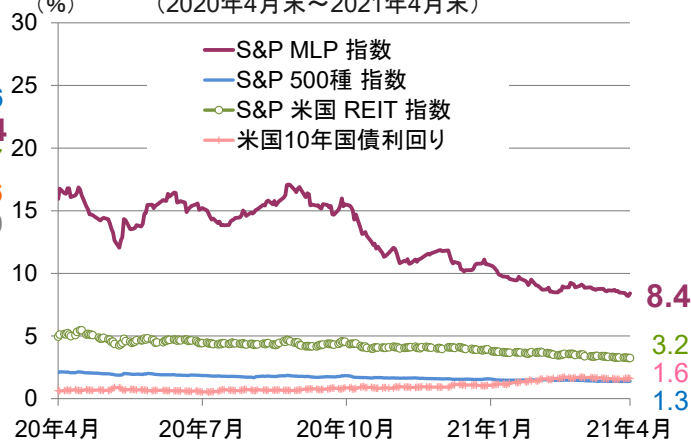
■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

(2020年4月末～2021年4月末)



■過去1年の各資産の利回り

(2020年4月末～2021年4月末)

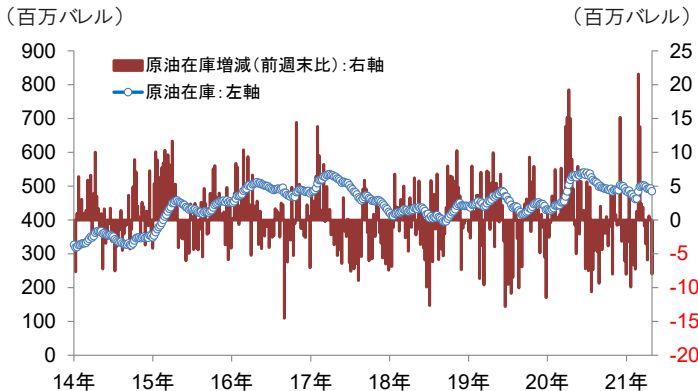


※ 各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。

※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

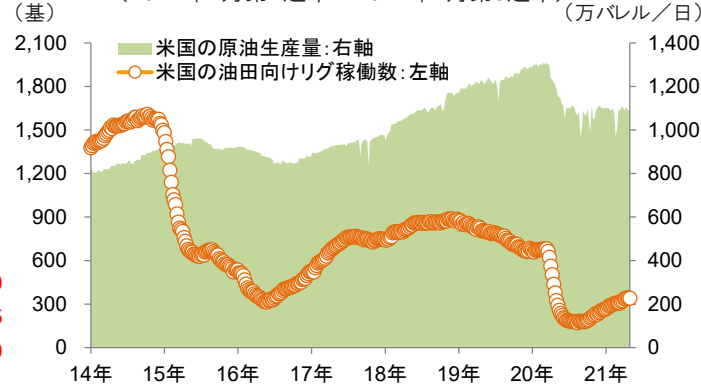
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2021年4月第5週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

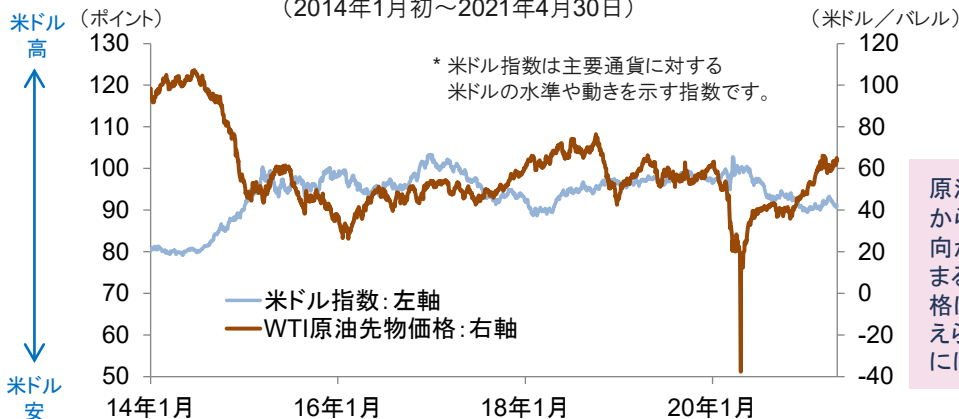
(2014年1月第1週末～2021年4月第5週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和と懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数\*

(2014年1月初～2021年4月30日)



\* 米ドル指数は主要通貨に対する米ドルの水準や動きを示す指数です。

原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調が強まる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。